



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 11. 8

3, 4年生用 No.57

自分らしさを磨く



世の中にはそれぞれの分野で活躍している人が沢山います。芸能界であればスターと言われる人が沢山います。運動選手にもそうした人がいます。皆さんはそうしたスターにあこがれ可能ならば自分も将来そうなりたいと一度ならず思ったことでしょう。しかし誰でもがなれるわけではありません。その人達には周囲の人々とは差別化した、人を引きつけるその人にしかない何かがあるからです。

スターにならなくてもそれぞれの組織の中には、周囲の皆から認められる様な際立った活躍をしている人が少なからずいます。それは必ずしも仕事だけではなく趣味の世界でもそうです。**人それぞれにどこかに持ち味がある**はずです。いたずらに目立ちたがり屋になる必要はありませんが、自分を差別化するという事は世の中に出れば大切なことです。**自分を差別化する為には自分らしさを日頃から磨くこと**です。自分にしかない持ち味を組織の中で発揮出来れば、その人にとっては生き甲斐がそこに生まれます。いつもその他大勢の中に入るのではなく、**どこかに自分らしさを発揮できるものを見つけそれを磨いていくこと**は大切なことです。人間誰しもその人特有の自分らしさはあるはず。皆さんも是非「自分の差別化出来るものは何かを自らの中から発見」して下さい。そして大切なことは**それをさらに磨き上げる常日頃の努力が必要**です。そうすればそれがやがて大きな木に成長し得るかもしれません。



世の中で必要な3つのC

アメリカのハーバード大学のトニー・ワグナーという研究者が、「よりよい教育」のためには3つのCを教える必要があると言っています。その3つのCとは「**批判的思考**」(クリティカルシンキング)、「**コミュニケーション**」、「**共同作業**」(コラボレーション)です。

批判的に考えるとは、人の言ったことを鵜呑みにしたり、正解を丸暗記するだけではなく、適切な疑問を思い浮かべ、自分で考えなくてはならないということです。また人と**コミュニケーション**が取れなければ周囲との共同作業が出来ません。組織の中では一見個々別々に仕事をしているように見えても、組織の中では**共同作業**をしていかないと良い仕事は出来ません。世の中は一人の優秀な人材により成り立つものではなく、多くの人の共同作業により成り立つものです。

皆さんの中には周囲とのコミュニケーションがやや苦手という人も少なくないでしょう。人間社会は人と人との関わりにより成り立っています。皆さんがこれから社会に出れば、色々な人との関わりは避けて通れません。当初は苦手意識を持っていても要は慣れで、気持ちの問題でしょう。いつまでも自分の殻に閉じこもらず、自らの殻を破り、外に出て皆と共に生きる気持ちが大切です。

就職支援員に新たに中村廣さんをお願いする

今年の厳しい就職戦線に対して11月5日から2月末まで、昨年も本校でお願いした中村さんに就職支援を頂くことになりました。これ迄お世話になった河村さんと征矢さんにも引き続き12月末までお世話になり、何とか一人でも多く内定できるようご支援を頂きます。